

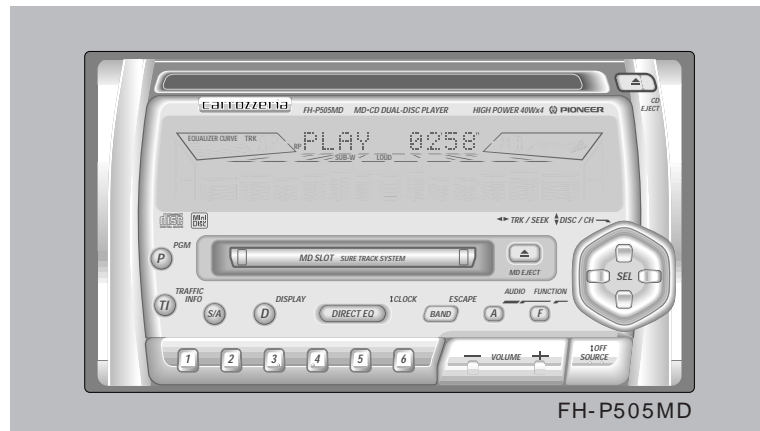
マルチCD/MDコントロール チューナーCD/MDアンブ

FH-P505MD

マルチCD/MDコントロール チューナーCDデッキアンブ

FH-P404

取付説明書



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

© パイオニア株式会社 1998

< 98D00F0P01 > < CRA2516-A >

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

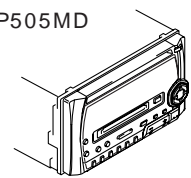
販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

接続・取り付け部品を確認する

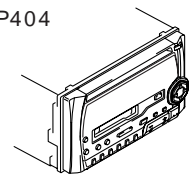
本体関係

FH-P505MD



② トラスネジ (5 × 8 mm) × 8

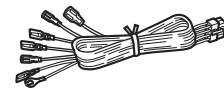
FH-P404



③ 皿ネジ (5 × 9 mm) × 6

① 本体 × 1

コード関係



④ 電源コード × 1

システムの組み合わせについて

システム一覧表

次のようなシステム構成にすることができます。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

○ 印：
組み合わせで使用することができます。

	本機 (FH-P505MD) または (FH-P404)	AVシステムTV (AVX-P505J など)	6/12連装マルチCDプレーヤー (CDX-P630SJ など)	50連装マルチCDプレーヤー (CDX-P5000J など)	ボイスコントロールディスプレイ (MD-P100IU)	マルチMDプレーヤー (MD-P100IU)	RCA/IP-BUSインターコネクター (CD-RB20J など)	内蔵アンブ + フロントスピーカー (GM-X9200J など)	外部アンブ + リアースピーカー (GM-X9200J など)	外部アンブ (GM-X9200J など) + フロントスピーカー + サブウーファー
組み合わせ例 1	○	□	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 2	○	□	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 3	○	□	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 4	○	□	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 5	○	□	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 6	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 7	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○
組み合わせ例 8	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○

△ 印：
組み合わせで使用すると、外部機器 (ビデオや DAT など) の音声を聞くことができます。

□ 印：
本機には、IP-BUS拡張アダプター (「CD-P33」など) を利用して、複数のマルチCDプレーヤーを接続することができます。この場合、複数接続に対応したマルチCDプレーヤー (「CDX-P620S」など) が必要です。

▲ 印：
カーステレオの取付位置 (コンソール) にDサイズで3台分の取付スペースのある車種が対象です。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

赤リード線 (アクセサリ電源) は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

本機のアンブにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの (-) リード線を、共通にして接続しないでください。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力40 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から 8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの破損の原因となります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青/白リード線 (オートアンテナ) に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。(ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。) 詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

IP-BUSの接続について

IP-BUS端子とIP-BUSケーブルは、同じ色同士を接続してください。(コネクターの接続部分が色分けされています。)

ノイズ防止のために

アンテナコードは、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

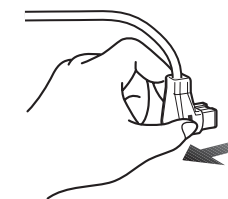
電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクターの着脱のしかた

コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。

コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続する

-- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください --

基本的な接続のしかた

組み合わせ例3
システム一覧表を参照して、システムを組み合わせてください。



オートアンテナ
オートアンテナのON/OFFをコントロールするために使用します。(ラジオ/テレビがONになるとコントロール信号が出力されます。)
車側のオートアンテナのコントロール端子に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)また、ガラスアンテナ車の場合は、アンテナブースターの電源端子に接続してください。上記以外は、何も接続しないでください。

ミュート
パイオニア製の自動車電話などのオプション製品と組み合わせるときに、オプション製品からの信号によって本機の音量をコントロールするために使用します。(オプション製品からのコントロール信号が入力されると、本機の音量が一時的に「0」になります。)
組み合わせたオプション製品に黄/黒リード線(セルラーミュート用またはミュート用)がある場合は、そこに接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

アース
車のボディの金属部に確実に接続してください。

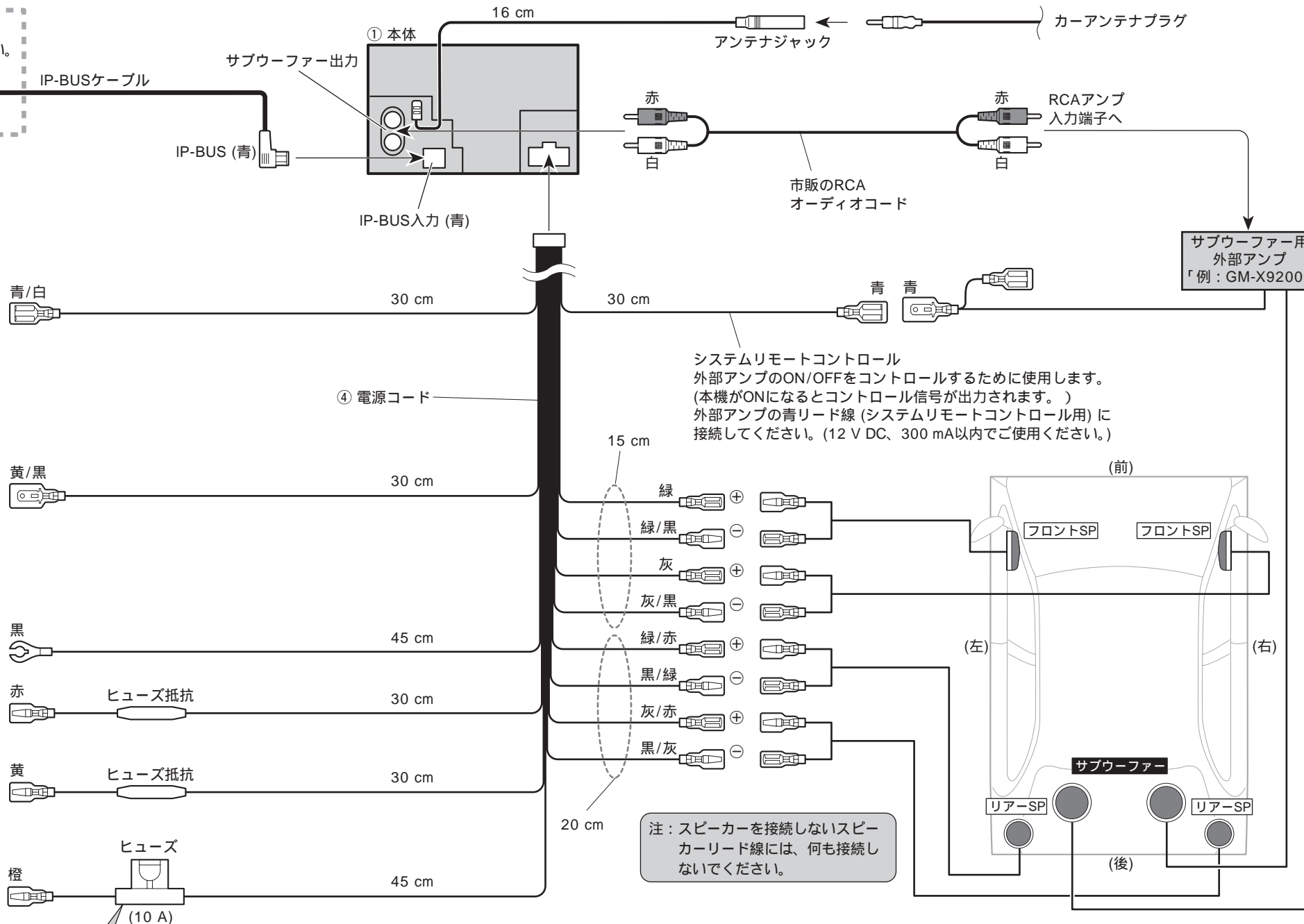
アクセサリ電源
車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

イルミ電源
車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路(時計の照明回路やスモールランプ回路など)に接続してください。

+ バッテリー電源
車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：赤、黄、橙リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

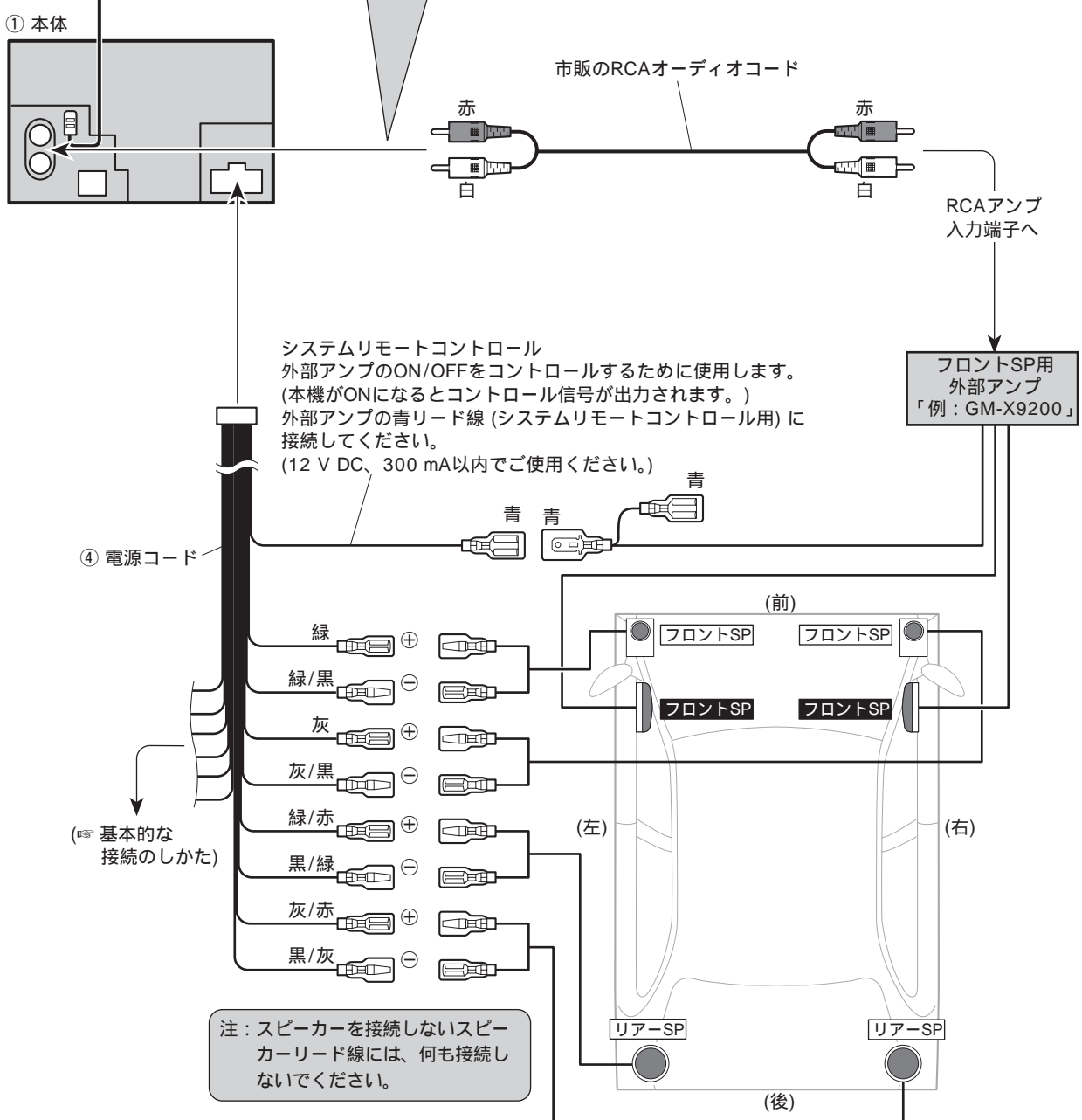


システムリモートコントロール
外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機がONになるとコントロール信号が出力されます。)
外部アンプの青リード線(システムリモートコントロール用)に接続してください。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

サブウーファー用以外の外部アンプを接続する場合

注：フロントスピーカー用外部アンプを接続した場合、取扱説明書に従ってRCA出力の設定をフロント出力にしてください。



注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

取り付けの前に知ってほしいこと

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

ノイズ防止のために

アンテナコードは、IP-BUSケーブル、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

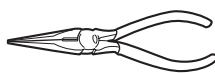
取付キットを別売しています

車種や年式によっては、別売のパイオニア取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

日産車に取り付ける場合、車種や年式によって別売の日産車化粧パネル「ADT-N979」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。

取り付け工具

取り付けかたによって、使用する工具が違います。取り付け作業を行う前に、取り付けに必要な工具を確認してください。



ラジオペンチ



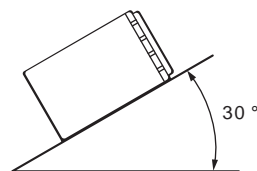
プラスドライバー



カッターナイフ

取り付け上のご注意

本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。

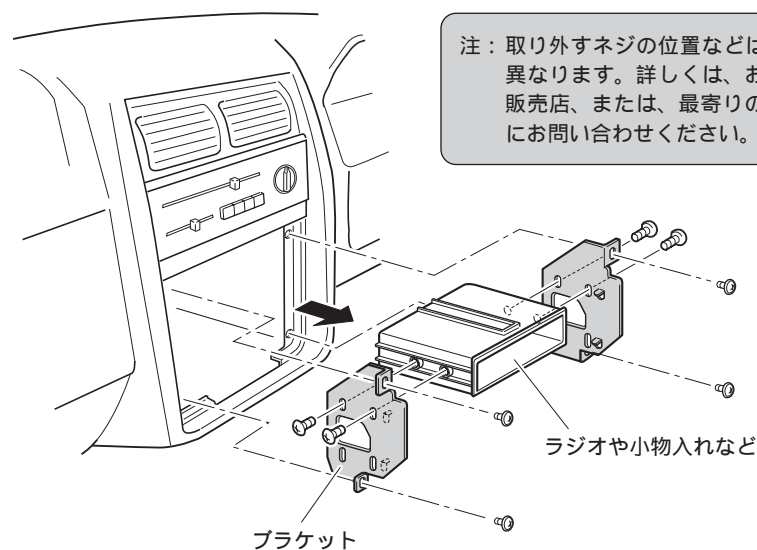


取り付ける

取り付け例 (トヨタ車、日産車への取り付け)

1 車側のラジオ、小物入れなどを取り外す

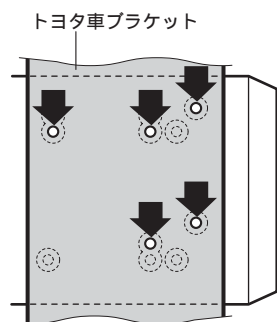
ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



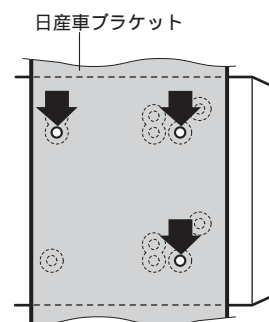
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。次のネジ穴のうち、4カ所 (または3カ所) 合う位置があります。

トヨタ車の場合

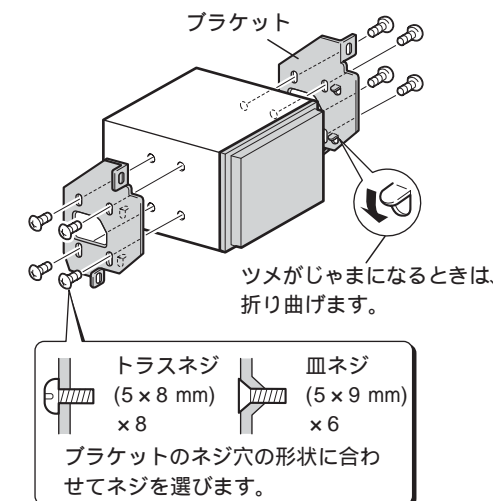


日産車の場合



3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ4カ所 (または3カ所) ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

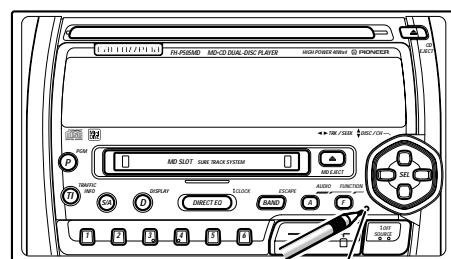
1 接続・取り付けを もう一度確認する

接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

3 車のエンジンをかける



2 ボールペンの先などで リセットボタンを押す



FH-P505MD

リセットボタン

4 本機の動作を 確認する

(取扱説明書)